

おおい 自然園

ニホンジカとヤマビル

No.150

ニホンジカは、かつて標高が高い山地を除く県内全域に生息していましたが、人の活動が広がって山地に追い詰められました。しかし、『大井町史 別編 自然』によると、1995年あたりから町内でも見られるようになり、現在では普通に生息しています。それに伴って、シカなどの蹄の間に潜んでいたヤマビルが、相和地区の一部でも見られるようになってきました。

初夏から晩秋にかけて野山を歩いていると、場所によってはヤマビルが草や落ち葉の隙間から人の気配を感じ取り、尺取り虫のように体を動かして、靴からはい上がってきます。毒はないのですが、喰い付かれると吸血され、血がなかなか固まりません。防ぐには、専用の忌避剤を靴やズボンにスプレーするのですが、食塩水や虫除け剤も効き目があります。



ヤマビル



ニホンジカ
(夏毛の雌)

【おおい自然園 HP】



▲大井町の動植物や虫、石、自然観察会の結果などを掲載しています。

【自然NOWへの投稿】



▲町内の身近な自然情報をお待ちしています。
※撮影は横位置で

おおい自然園園長 一寸木肇